



平成24年1月20日

各位

上場会社名 日本製罐株式会社
 代表者 代表取締役社長 伊藤 正美
 (コード: 5905、東証第二部)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 鈴木 泰夫
 兼経営企画部長
 (TEL.048-665-1257)

希望退職者募集に伴う特別損失発生の見込み
 並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、希望退職者の募集を行うことについて決議を行いましたので、お知らせいたします。

また、希望退職者の募集実施に伴う特別損失の発生並びに直近の業績動向を踏まえ、平成23年7月27日に公表した平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の通期業績予想(連結・個別)の修正につきましても、併せてお知らせいたします。

1. 希望退職者募集の理由

金属容器の需要はプラスチック等の代替容器への移行、取引先企業の海外移転等による減少という環境にある一方、主要原材料である鋼材価格は資源価格の高騰を受け毎年上昇傾向にあり収益の悪化を余儀なくされております。

かかる状況下、昨年、東日本大震災の発生による取引先の一時的な減産に加え、海外生産比率の上昇が加速されており、特に美術缶部門でその影響が強く出ております。

今年度、当社は不採算取引の解消・役員報酬のカット・一時休業・非正規社員の削減等の収益改善策を実施して参りましたが、18%の低収益構造に加え美術缶の需要減少の長期化が予想されることから、希望退職者募集によるコスト構造の改善に着手せざるを得ないと判断したものであります。

2. 希望退職者募集の概要

- (1) 募集人員 20名程度
 (2) 募集対象 日本製罐株式会社の全従業員
 (3) 募集期間 平成24年2月15日～平成24年2月29日
 (4) 退職日 平成24年3月31日(予定)
 (5) 優遇措置 退職者に対しては、退職特別加算金等を支給するとともに、希望者には再就職支援会社を利用した支援を実施します。

3. 今後の見通し

上記の希望退職者募集に伴い発生する退職特別加算金等の費用を90百万円と見込み、平成24年3月期第4四半期に特別損失として計上する予定です。

4. 業績予想の修正

(1) 平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	△ 360	△ 290	△ 280	△ 24.19
今回発表予想(B)	7,415	△ 640	△ 575	△ 655	△ 56.47
増減額(B-A)	△ 585	△ 280	△ 285	△ 375	
増減率(%)	△ 7.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	8,518	△ 192	△ 122	△ 214	△ 18.51

(2) 平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,720	△ 340	△ 260	△ 265	△ 22.89
今回発表予想(B)	5,100	△ 630	△ 550	△ 640	△ 55.17
増減額(B-A)	△ 620	△ 290	△ 290	△ 375	
増減率(%)	△ 10.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	6,363	△ 163	△ 95	△ 194	△ 16.84

(3) 修正の理由

(連結売上高・営業利益・経常利益)

18%缶の売上は、東日本地区の需要回復遅延により数量で前年比1.7%の減少(前回予想では1.0%の増加)、金額では価格引き上げの効果で1.1%の増加(前回予想は5.2%の増加)となる見込みであります。

美術缶の売上は、東日本大震災に端を発した取引先の海外生産比率増加の影響を強く受け、数量で前年比44.7%の減少(前回予想では34.0%の減少)、金額では42.7%の減少(前回予想は31.1%の減少)となる見込みであります。

以上の要因から連結売上額は前回予想より減少し、損失も拡大する見込みとなりました。

(連結当期純利益)

上記売上見込の減少に加え、希望退職募集に伴う費用を特別損失として計上するため、当期純損失は拡大する見込みであります。

(その他)

個別業績予想の修正も、連結業績予想の修正と同様の理由であります。

※ 上記業績予想につきましては、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上